

くらしの移動を支える
特別委員会記録

令和8年6月24日

【開催日】 令和8年6月24日（水）

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後1時12分～午後1時34分

【出席委員】

委員長	宮 本 政 志	副委員長	藤 谷 圭 子
委員	伊 場 勇	委員	奥 良 秀
委員	恒 松 恵 子	委員	中 岡 英 二
委員	中 村 博 行	委員	濱 本 健 吾
委員	前 田 浩 司		

【欠席委員】

委員	中 島 好 人		
----	---------	--	--

【委員外出席議員等】

副議長	大 井 淳一朗		
-----	---------	--	--

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

局長	船 林 康 則	局次長	中 村 潤之介
----	---------	-----	---------

【審査内容】

- 1 本市の交通事情の実態把握について
- 2 その他

午後1時12分 開会

宮本政志委員長 お疲れさまです。ただいまから、くらしの移動を支える特別委員会を始めたいと思います。本日の付議事項のまず1点目です。本市の交通事情の実態把握についてですが、市民の方々が抱えている交通に関する問題点とか課題とか御意見等とかがいろいろあると思います。そうすると、本市の交通事情に対する実態把握が非常に重要になってくる

と思ひまして、付議事項の１点目はこちらにさせていただきました。付議事項１点目、本市の交通事情の実態把握について。どのような実態把握をしたらいいとか、こういうことを実態把握するべきではないとかも踏まえて、御意見のある方はお願いします。

中岡英二委員 委員長が言われたように、交通事情の実態把握というのは大変な大事なことだと思います。実際に把握していこうと思えば、実態を知らないといけないと思いますので、委員の中で何班かに分かれて聞いて回る。かなりの時間が掛かるとは思いますけれど、そういうことをきちんとして上で話していくほうが、今の困り事とか、こういうことをしてほしいという意見とか、特にデマンド交通が走っている場所で、なぜ事業が伸びていかないのかとか、何かあると思うんですよね。出向いて行って、そういう不便さを聞いて帰るのが一番じゃないかなと思います。

宮本政志委員長 今の中岡委員の意見としたら、実態把握を前提に市民の意見をいろいろ聞いていこうと。ただ、それだけでは幅が広がりますので、デマンド交通が通っている地域に関して意見を聞いていったらどうか、実態把握に努めたらどうかということですが、これについて、ほかの委員の方から御意見はありませんか。

奥良秀委員 特に私が思っているところはとまり号です。なかなか伸びていない事情もありますので、地域の皆様、自治会に当たってみて、生の意見を吸い上げて、実際どうなのか、どういうことが足りなくて使ってもらえないのかをはっきり調べていく必要があると思います。中岡委員が言われたとおり、このメンバーで何班かに分かれて意見を収集したほうがいいと思います。

濱本健吾委員 デマンド交通は、近年、バスが利用されないということで、それを補完するために、より使いやすい形としてつくられたものだと思います。しかし、初年度から年々利用者が減ってしまっているのです、なぜ

減ってしまっているのかを研究して、新しい交通手段を提案する必要があると思います。

恒松恵子委員 今、デマンド交通、とまり号のお話が出ました。確かにデマンド交通にはもう固定で高額の費用が掛かっております。地域公共交通計画の中でも位置づけされていますし、大変意義ある計画なのかもしれませんが、利用者が減少する現実と乖離していることも踏まえまして、やはりそこにお住まいの方の声を聞いて、よりよい方法を探るべきだと思います。したがって、皆様と実態把握に行くことについては賛成です。

中村博行委員 皆さんおっしゃるとおり、そのほうがいいと思いますけれども、具体的には、山陽側でいうと、殿様号と姫様号が通っている沿線自治会、そして先ほどから出ていますように、小野田側ではとまり号のデマンドタクシーの沿線自治会といった単位で実態把握のための聞き取り調査が必要かと思います。

宮本政志委員長 今、中村委員に言っていたんでよかったです。さっきとまり号という具体的な地区が出て、皆さんそれで「とまり号のみでいいです」となりかけて、「あれ、殿様号と姫様号も本市には通っているんだけどな」と思ったんですけれども、とまり号、殿様号、姫様号の実態把握についてということですね。中岡委員が最初に少し触れたけれど、とまり号、殿様号、姫様号の通っているところの市民に意見を聞く、単位は自治会ということが中村委員から出たけれど、中岡委員は、どういったことを聞いていったらって少し触れましたよね。案がありますか。ただ、とまり号、殿様号、姫様号が通っている地区の市民の方に交通事情の実態把握として聞きに行きましょうというのはいいいんですよ。ただ、デマンドのところに行くわけですから、例えばどういうところをもう少し掘り下げて聞けたらという案があったら教えてほしいです。

中岡英二委員 先ほどもありましたけど、利用者が減っているということは、

何かそこに問題があると思うんで、そういう不便を感じているところ、現状のやり方ですね、予約するといったところで、利用の仕方が少し難しいというか手間が掛かる。まずは乗らない理由、利用しない理由をしっかりと把握して、どのようにしたら皆さんが乗れるようになるのかを把握していきたいと思います。そうした中で課題が見えてくると思うんですよ。何度か聞いていくうちに、その課題に対してこの委員会の中でどのように解決していったらいいのかを話していったらいいんじゃないか。今のところ、まだ具体的にはないです。今、言ったぐらいのファジーな感じなんですけれど、これからそういう課題などいろんなことを聞いていくことは考えていきたいと思います。

宮本政志委員長 十分な御意見ですよ。つまりデマンドを利用しない理由も含めた利用者の不便さとデマンド自体の現時点での課題ですね。これには実態把握、当然、現状も知らなければいけませんから、いい御意見だと思います。ほかに何か、デマンドに関して、この三つの走っているエリアに行ったときに、中岡委員が言ったこと以外でこういったことも聞いてはというのがあれば。

中島好人委員 デマンド交通における実態把握はそれでいいですし、現実的にしっかり声を聞くのはいいんですけれど、もう大体想像はつくんですよ。大体分かるんです。だけれども、生の声を聞くということが大事で、僕らは何を想定するかというと、委員長が資料としてくれたものを見てみますと、デマンド交通なんです。要するに時刻表もなければコースもない。スマホ一つで来てもらえる。うちとしては、そういうデマンド交通をいかに導入していくかという方向性をにらんでいく必要があるんじゃないかと思います。となると、今のこの路線バスを何年か掛けてしっかりと対話していくというか、今あるのは路線バスがあるから、いろいろそこを守らないといけないというんで、何億円か出したりして補助してやっているわけだけれども、だけど今後の新しい方向になると、やっぱりそういう方向をにらんで実態把握をしていくと。こういう方向性を持

った取組が僕は必要じゃないかと。だから、何もね、実態把握するのに規定はないけども、そういう観点でいく必要があるのかなと思います。

宮本政志委員長　なるほどと思うのが、つまり皆さん御存じと思うけど、デマンドは産建かな。大きく分けたら、とまり号は殿様号と姫様号とは少しシステムが違うよね。行き先はいろいろ類似点はあるんだけど、ルートに関しても少し違いますよね。集合場所とか家までとかというところが少し違います。そうすると、中島委員の意見からすると、今から出向いてはいきますが、もし市民から、「これ、どうなの」と聞かれたときに、うそを言うわけにはいけないので、担当課から、実際の今のデマンドについては聞いておかないといけないね。それから意見を聞きに行くほうがいいですね。

恒松恵子委員　路線バスとおっしゃいましたが、サンデン交通と船鉄バスがあります。運行については市が決めることではないので、市が関与できない理由とか今後の方向性とかも、執行部にお越しいただくのであれば、説明を求めていけたらなと思っております。

宮本政志委員長　路線バスも関連するのかな、デマンドと。（発言する者あり）
そうか。そうやね。

伊場勇委員　本市でもコミュニティバスがあるんですけど、それは埴生からと津布田までをぐるっと回るのであまり関係ないかなと思うんですが、知識として担当委員会は持っておかないといけないのかなと思います。どのように使われているのかをきちんと明確にしないといけないし、やっぱりそこでいろんな予約の仕方、今度はやり方、もしくは在り方をしっかり皆さんは落とし込んで、しっかり議論する上で、デジタルが必要なのか必要じゃないのか。デマンドについても高齢者だけじゃないじゃないですか。普通の人も使っていいわけですよ。でも、使い方を知らない人も多いかもしれない。だから、そういったところも全部全体で見る

必要があるかなと思いますが、もちろんその自治会に聞くということはすばらしいことだと思います。今までやったことはないし、やるべきだと思います。

宮本政志委員長　今、恒松委員が言われたデマンドは、そもそも駅とバス停、それから交通結節点があって、こういう地域に関してはデマンドを活用しようというルール決めは、本市には既にありますからね。その上で、路線バスから漏れている、あるいは使いにくいところにデマンド交通と路線バスの情報交換も担当課としないといけませんね。分かりました。今は実際にデマンド交通が通っている地区の市民の皆さんに意見を聞いていきたいと思います。先ほど中村委員から自治会という単位のことが出たんですけれど、大まかにどこに行くか、どういうふうに行くか、どういう組織の人たちに行くか、そうなれば自治会かなと思うんですが、その辺り、中村委員の意見に対して、ほかの委員の方、意見はありますか。自治会単位で行ったらいんじゃないというような御意見が出たけれど、単位を決めないと、デマンドが通っているところに行きましょうといっても、どこにどこから行くのかという話になるからね。

恒松恵子委員　市の地域公共交通計画の37ページに、デマンド交通の関係する自治会名が全て載っておりますので、当面、把握するとすれば、ここに上がっている自治会が、意見を聞きに行きやすいかなと考えます。

宮本政志委員長　私も資料は事前に調べてきたんですけれど、これはホームページでも調べられるところだから、その辺りは私で調べましょう。皆さんの御意見を聞いていますと、デマンドの通っているところから意見を聞きに行きましょうということですね。それ以外、例えば、デマンドから少し外れて、それ以外にもし意見等があったらお聞きしたいんですけどね。もしかみ合えば、例えば隣接とかデマンドの通っている自治会に意見を聞きに行くのに、少しでも関係しておけば、それも踏まえて聞きに行けばいいじゃないということになるかもしれないので、デマンドを

少し外して、それ以外に何かあったら御意見をお聞きしてもいいですか。
この交通事情というのは非常に難しいけれどね。

伊場勇委員 殿様号、姫様号、とまり号を運行しているのは、小野田の第一交通ですよね。第一交通の方からも何か参考になる意見が出るのかもしれないと思います。受託業者です。

宮本政志委員長 皆さんどうですか。まずは、さっきの中島委員の提案で、我々この委員会で担当課を呼んでとありました。恒松委員もでしたね。デマンドと路線バスについて、しっかり実態把握をしようと。それから、それぞれ班を分けて、デマンドの通っている自治会に意見を聞きに行きましょうと。それに当たって、どっちが先か後かにするんだけど、同じ時期にデマンドのタクシー会社とか、あるいはもっと言えば、路線バスの運営会社とかにも意見交換をしておいて、情報をもらっておいて、市民のほうに行ったほうがいいのか、あるいは、市民の方々の意見を聞いてから業者さんに来てもらうなり何なりして聞くかと。その辺は、どうお考えですか。皆さん、御意見はありますか。どっちもどっちである意味成立するし、ある意味どっちが先でも後でもいいかなというのもあるんですけど、皆さんの御意見を聞いてから組み立てていきますんで。

奥良秀委員 業者への意見聴取につきましては、私たちが最初に地域の人に意見を聞いてからのほうがいいと思います。まずは、委員長が執行部に話をされるということでしたので、意見をお持ちだと思われるバス会社やタクシー会社から聞いてみて、市民の方から意見を聞いて、御意見ですけどどうですかという流れのほうがよろしいんじゃないでしょうか。

濱本健吾委員 私も先に市民から聞いたほうがいいと思います。というのが、もしかしたら使い勝手の悪さが出るかもしれないので、それをもってその業者に掛ければ、使いやすさが向上して、利用率が増える可能性もあると思うからです。

恒松恵子委員 一番問題なのが、殿様号と姫様号では、委託費が固定なんですね。利用に応じて運行先が増えるわけでないので、まずは市民の声から改善されるべきところは改善したほうがいいのではないかと思います。

宮本政志委員長 そうすると、業者のほうは後にして、まずはデマンドが通っているところの市民の方から意見を聞いていくという方向ですね。伊場委員が言ったことも一理あって、担当課が、民間業者にはこういう課題があるんですよとなって、市民の方も同じ課題を言うか、もしくは全く違う課題を言ったときに、民間業者がなぜできないのかを知らないまま聞いて持って帰るんで、先に聞いておけばその場で「なるほど」となって、もっと深く議論できたということもあるかもしれないからね。でも、皆さんの意見からすると、まずは市民の意見を聞いて、その後、そういったことも踏まえて、業者に依頼して、また意見交換をしていこうということによろしいですか。デマンド以外はなさそうなので、これは中村次長、今から、いつかはまだ具体的に別にしても、結局この委員会の中で何班かに分けて、全員が意見交換に行くわけだから、委員派遣はもうきちっと取っておいたほうがいいね。

中村議会事務局次長 それは可能です。

宮本政志委員長 そうよね。はい、分かりました。委員派遣についてお諮りしていかないといけませんので、皆さんがおっしゃったようにデマンドのとまり号、姫様号、殿様号、この三つが通っている地区の市民の方々に実態把握を目的とした意見交換をしていく、この委員派遣承認要求を議長にしたいと思いますけれど、御異議ございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）異議なしと認めます。そうしますと、先ほど言いましたように、具体的に委員派遣の人選、つまり、この委員会を二つか三つかに分けるんだけど、委員全員がこれ人選としてもう発言されますんで、人選は委員全員、それから日時、場所はまた、先方さんもいらっしゃるんで、

この場で日時は決められませんし、場所も先方さんの御都合もある。目的は先ほど言いましたし、経費等がもし発生した場合も踏まえて、その辺りは委員長の私に一任していただきたいんですけど、御異議ございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）意見を聞きに行く前に、また皆さんとも執行部とも調整して、デマンド交通や路線バス等の実態については、担当課を呼んで、委員会で議論していきましょう。そのほか、付議事項１点目の実態把握について、何か付け加えることや意見があったらと思いますけれど、ありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、２番のその他です。今後この特別委員会に対して、こういうことはどうかといったような御意見等や要望があったらお聞きします。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、本日のくらしの移動を支える特別委員会を散会します。お疲れさまでした。

午後 1 時 3 4 分 散会

令和 8 年（2026 年） 6 月 2 4 日

くらしの移動を支える特別委員長 宮 本 政 志